



建設業が ISO を活用して儲ける秘訣

1

ISO で儲けるには



科学と技術に心を添えて

ハタ コンサルタント株式会社

代表取締役 降旗 達生

儲かるISOのポイント その1



ISO認証取得しても、書類が増えただけで何もいいことがない



審査の前に担当者が書類を作成しているだけで、他の社員はISOに全く関与していない



こんなISOはもう止めたい

ISO認証取得企業より、こんな声が聞こえます。

ところが一方で、



ISOを構築し運用することで、社員が育ち、お客さまの評価があがった



ISOをきちんと運用することで、原価が下がった

という会社もあります。

両者はどう違うのかを調査しつくした結果、いくつかの特徴が見つかりました。
そして、それらを「儲かるISOのポイント」としてまとめました。

ISOを深く理解して業績アップにつながるツールとして活用していただくために、
これから「儲かるISO」のポイントをシリーズでお伝えします。

① 儲かるISOってなに？

次の式は会社の業績を示すもので、損益計算書といいます。

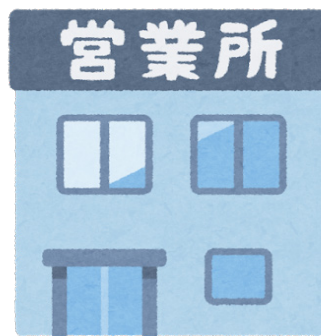
$$\begin{array}{r} \text{売上げ（完成工事高）} \\ - \text{） 変動費（工事原価）} \\ \hline \text{粗利益} \\ - \text{） 固定費（販売費、一般管理費）} \\ \hline \text{経常利益} \end{array}$$

このうち、継続して経常利益をたくさん（例えば、売上げに対して10%程度）出している会社を、業績のよい会社といいます。さらに、この式を見て分かるように経常利益を増やすためには、以下の3つの方法があります。

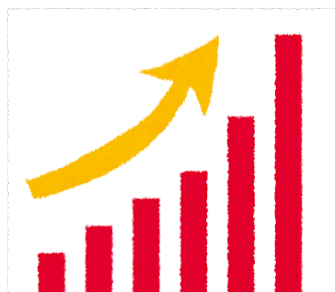
(1) 変動費を減らす



(2) 固定費を減らす



(3) 売上げを増やす



つまり、業績を上げる（儲ける）ためには、上記1、2、3を実践する必要があるのです。

② 儲けるための要求事項？

儲けるためには、(1) 変動費ダウン、(2) 固定費ダウン、(3) 売上げアップを踏
する必要があることをお伝えしました。つまり、「儲けるISO」を実践するには、この3
つをISOの運用を通して実施するということになります。

では、どの要求事項を実施すると業績アップにつながるのでしょうか。ここでは、
ISO9001の要求事項を分析してみます。

(1) すべてに効果的な要求事項

- 1) 品質方針 (ISO9001 5.2)
- 2) 目標管理 (ISO9001 6.2)
- 3) 内部監査 (ISO9001 9.2)

(2) 変動費ダウンに効果的な要求事項

- 1) 設備の管理 (ISO9001 7.1.3)
- 2) 5S の徹底 (ISO9001 7.1.4)
- 3) 品質計画 (ISO9001 8.1、4.4.1、7.5.3)
- 4) 供給者の評価、選定 (ISO9001 8.4)
- 5) 施工管理 (ISO9001 8.5)
- 6) 実行予算書のチェック、
工事精算書のチェック (ISO9001 9.1.1、9.1.3)
- 7) 儲かる不適合の定義 (ISO9001 8.7)

(3) 固定費ダウンに効果的な要求事項

- 1) 責任と権限 (ISO9001 5.3)
- 2) 報連相の徹底 (ISO9001 5.2.2、5.3)
- 3) 教育、訓練 (ISO9001 7.2)
- 4) 是正処置 (ISO9001 10.2)
- 5) 予防処置 - リスクと機会への取組み (ISO9001 6.1)

(4) 売上げアップに効果的な要求事項

- 1) 顧客重視、顧客満足度の把握 (ISO9001 5.1.2、9.2.1)
- 2) 顧客要求事項の把握 (ISO9001 8.2.2)
- 3) 顧客開拓戦略 (ISO9001 8.2.1)
- 4) 設計、開発 (ISO9001 8.3)

これらの要求事項を、「業績アップ」を意識してシステム構築し運用することが、
「儲かるISO」の第一歩です。